

序文

「見えてくる、カナダ2001」の一環として、カナダ大使館は4月17日、東京にてシンポジウム「21世紀の課題：平和と安全保障を考える」を開催しました。このシンポジウムの目的は、平和安全保障問題における日本・カナダ間の協力強化並びに21世紀初頭に両国が直面している重大な平和安全保障問題の探求でした。

「平和と安全保障を考える」シンポジウムには、明石康元国連人道問題担当事務次長やロイド・アクスワージー前外務大臣等、日本とカナダの卓越した専門家が参加し、国際機関と平和安全保障・国家主権と安全保障・人道的介入・平和と安全保障に与える技術革新の影響・海洋安全保障問題といった現在並びに将来の課題が取り上げられました。このシンポジウムほどの規模の大きさと範囲の広さはカナダの日本との安全保障協力にとって初めてのことで、日本の専門家にカナダの考え方に接する絶好の機会を提供すると共に、参加者は交流を深める事ができました。

「平和と安全保障を考える」シンポジウムに御参加いただいた素晴らしい発表者並びにコメンテーターの方々すべての創造的な貢献に感謝申し上げます。ダイナミックな議論と、より広範囲で長期的な協力に向けての興味深く新しいアイデアの数々を提供してくださいました。また、本イベントの実現に向け貴重な御協力をいただいた慶応大学並びにヨーク大学国際安全保障研究センターに心から感謝申し上げます。同様に、このイベントを大きく取り上げてくださり、御支援いただいた朝日新聞にも感謝申し上げます。

この出版物は、「平和と安全保障を考える」シンポジウムにおける5人のカナダ人の発表内容、アクスワージー前外相による基調演説、並びにカナダ側の発表に対する日本側の専門家のコメントを収録しています。これらは個人の見解であり、必ずしもカナダ政府や日本・カナダの各所属機関の見解ではないことをお断りしておきます。

ロブ・ライト
大使